

受賞工事名	平成24年度 市道福嶋西線道路新設工事
受賞技術者名	佐藤 広 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市増田町増田字伊勢堂 地内	
請負者	住所	横手市雄物川町薄井字下開344
	商号	株式会社吉田建設
	代表者	代表取締役 吉田 博行
請負金額	¥43,286,250.-	
工事期間	平成24年7月20日 ~ 平成24年12月14日	
概要	道路改良・舗装工事 施工延長257.6m 幅員8.0(5.5)m 置換工 1,100㎡ 下層路盤工 1,830㎡ 上層路盤工 1,830㎡ 表層工 2,500㎡ 排水工（自由勾配側溝 304m パンチリウム 452m 集水柵 22箇所） 耐震性防火貯水槽工 1基	

【表彰理由】

交差点改良と道路新設が併わさった工事で、路体から表層まで、また、多くの構造物設置があったにもかかわらず、的確な施工管理で高品質な成果品である。田んぼを突っ切った道路新設で、各農業用水路の高さについて改良区や受益者と協議を密にし、設計変更を提案するなど品質確保のための積極的な対応が見られた。地域特産品の大型PR看板や開通式の企画実施などのほかにも、花火大会への作業協力など、多くの地域貢献活動が実施されている。



【受賞にあたって一言】

このたびは、栄誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。本工事は道路新設に伴う農業用水路の計画提案と水量の確保が課題となり、隣接する地権者のみなさまのご協力のもと水利用の品質改善を達成することができました。これもひとえに市当局のご指導と関係各位のご協力のたまものと深く感謝申し上げます。本受賞を励みに更なる技術力の向上と「良く早く安く」をモットーに地元地域、社会に貢献して行きたいと思っております。

受賞工事名	平成23年度 市道静町赤坂線歩道新設工事
受賞技術者名	又 井 正 雄 (故人) 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市静町字長田 地内	
請負者	住所	横手市駅前町13番8号
	商号	創和建设株式会社
	代表者	代表取締役社長 小原 朗
請負金額	¥51,318,750.-	
工事期間	平成24年8月8日 ~ 平成24年12月14日	
概要	施工延長 346.7m 幅員 6.0 (12.0) m 舗装工 (車道) 表層工 3,700㎡ 上層路盤工 1,800㎡ 下層路盤工 1,860㎡ 路上再生路盤工 2,040㎡ 舗装工 (歩道) 表層工 1,100㎡ 路盤工 1,230㎡ 附帯工 一式	

【表彰理由】

歩道部の新設と車道部の路盤から表層までの工事。路盤工においては、路上再生と置換えと2工法による路盤築造であることから、将来、段差が生じないように大型振動ローによる転圧を行ったり、センサー付きAsフィニッシャーを使用して精度の高い敷き均しにより、歩行者への水はねを防止している。表層工においては、継目のない舗装版のために、Asフィニッシャー2台を使ってホットジョイントしている。このように、技術面での工夫や取組みが顕著であった。



着手前



完成



ホットジョイント



大型振動ロー

路上再生



歩道路盤敷均



【受賞にあたって一言】

このたび、優良工事表彰の栄誉を賜り、関係するみなさまには心より感謝申し上げます。本工事は横手北中学校の開校に伴い生徒たちの通学路となるため、きれいで安心な道路づくりを心がけて施工し、それが地域への貢献にも繋がるという思いで完成させました。建設会社が工事をとおして社会に役立つ存在であることを願い、モノづくりを今後も継続して行く所存でございます。(代表取締役社長小原朗)

受賞工事名	平成23年度 市道杉沢安本線舗装新設工事
受賞技術者名	中村 貴幸 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市安本 地内	
請負者	住所	横手市平鹿町下吉田字下福田街道上124番地1
	商号	西田建設株式会社
	代表者	代表取締役 西田 勉
請負金額	¥100,649,850.-	
工事期間	平成23年9月6日 ~ 平成24年8月31日	
概要	道路改良・舗装工事 施工延長740m 幅員11.0 (6.0) m 路床安定処理工t=60cm 下層路盤工 6,810㎡ 上層路盤工 6,790㎡ 表層工 6,750㎡ 道路用側溝(300A)79m 大型711-A(1000×1000)59m 自由勾配側溝(1000型)135m	

【表彰理由】

県道交差点改良を含む740mの規模の大きな改良・舗装工事で、多工種工事であったが、適切な施工管理により品質が確保されている。工場地帯へのアクセス道路でもあり交通量の多い区域において、交通安全に万全を期しながらの施工であった。また、騒音状況を把握しながらの作業や、少しでも理解してもらえるよう工事広報誌の工夫など、長期に亘り地域住民と良好な関係を保持するための配慮が顕著であった。

着手前

完成

施工状況

排水構造物

振動・騒音測定

支持力測定

今日のチョット広告今日は料理レシピとドリンクアートです。 工事広報誌の1コーナー

不思議な図
 両端を片方づつ隠して見比べると...2本と3本?不思議です。

サンの魚でどうぞ!

【受賞にあたって一言】

このたびは、横手市優良工事の表彰をいただき誠にありがとうございます。当現場は、道幅の狭い道路沿いに多くの民家が隣接しているうえ、工場などへの通勤車両も多く、事故防止が最大の課題でした。期間中は安全管理と工程管理に重点を置き無事に完成させることができました。工事に協力していただいた地域のみなさま方に感謝するとともに、今後、より一層の技術向上を目指したいと思います。

受賞工事名	平成23年度 市道平野沢線橋梁架替工事
受賞技術者名	浅利 巧 現場代理人

【工事概要】

施工場所	横手市山内平野沢字上へ村 地内	
請負者	住所	横手市駅前町13番8号
	商号	創和建设株式会社
	代表者	代表取締役社長 小原 朗
請負金額	¥91,688,100.-	
工事期間	平成23年9月8日 ~ 平成24年10月31日	
概要	橋梁下部工 2基 仮設工(土留・仮締切工) 一式 旧橋撤去工 1橋 鋼橋上部工 一式 橋梁架設工 一式 橋面防水工 98㎡ 踏掛版工 一式 舗装工 486㎡ 法覆護岸工(環境保全型ブロック積) 193m ²	

【表彰理由】

片側交互施工による橋梁架替という厳しい施工条件の工事において、豪雪に見舞われながらも適切な養生により、品質の高い成果品を完成させた。先行施工した橋台片側接合側面に凹凸面を形成するシートを使用し、橋台の一体化を図ったり、舗装版斜め切断やミニバックホウ施工など品質確保と施工条件克服のための技術提案や工夫が顕著であった。また、油吸着マットによる環境保全や仮設道路拡幅による安全通行の確保など、積極的な取組みもあった。



【受賞にあたって一言】

このたびは表彰の栄誉を賜りありがとうございます。これもご指導いただいた監督職員の方々や地域住民のご理解ご協力を頂戴した賜物であると心より感謝申し上げます。施工にあたっては、コンクリートの品質確保と片側交通行時の道路幅員を最大限に拡幅する工夫により一般交通の安全確保に努めました。今後もより一層技術の向上を目指し、地域社会に貢献できるよう努力して行きたいと思っております。

受賞工事名	横手駅東口駅前広場改修工事
受賞技術者名	吉田昌平 現場代理人兼主任技術者

【工事概要】

施工場所	横手市駅前町 地内	
請負者	住所	横手市雄物川町薄井字下開344番地
	商号	株式会社吉田建設
	代表者	代表取締役 吉田博行
請負金額	¥69,190,800.-	
工事期間	平成24年5月15日 ~ 平成24年8月10日	
概要	アスファルト舗装工 3,305㎡ ブロック舗装工 1,572㎡ 側溝工 一式 暗渠工 一式 集水柵 10箇所 縁石工 一式 車止めポスト工 56本 区画線工 一式	

【表彰理由】

極めて短い工期設定のなか、同区域内で4工事が同時施工であったが、各工事業者との調整やJR・ホテル・関係住民と連絡を密にし、トラブルもなく工期内に完成させた。歩道部ブロック舗装は、歩道や点字ブロックに合わせて、一枚一枚形状を整えながら施工しなければならなかったが、短い工期でありながら良い仕上げになっている。足元照明や音声ガイドなど夜間の横手駅利用者への配慮も見られた。



【受賞にあたって一言】

このたびは荣誉ある賞を賜り誠にありがとうございました。本工事は「駅利用者の安全確保」「工程短縮」「他工事との調整」が課題でした。駅利用者様、駅周辺施設様、ともに工事を進めた他工事受注業者様、円滑な進捗にご尽力いただいた監督員方々など多くのみなさまのご協力により課題を解決し完成に至りました。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。受賞を励みに今後も品質の向上、社会貢献に邁進する所存です。

受賞工事名	横手駅東口駅前交流広場シェルター設置工事
受賞技術者名	阿部 芳和 現場代理人兼監理技術者

【工事概要】

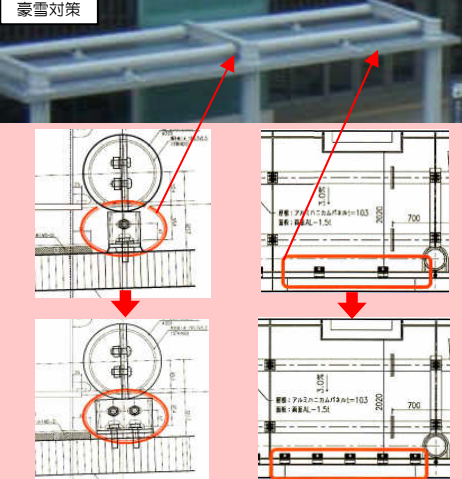
施工場所	横手市駅前町 地内		
請負者	住所	横手市前郷二番町7番13号	
	商号	横手建設株式会社	
	代表者	代表取締役 武茂 広行	
請負金額	¥99,149,400.-		
工事期間	平成24年5月8日 ~ 平成24年8月10日		
概要	鉄骨・金属工事 シェルター 194.96㎡ 仮設工事 一式 土工事 一式 コンクリート工事 一式 型枠工事 一式 鉄筋工事 一式 防水工事 一式		

【表彰理由】

極めて短い工期設定のなか、同区域内で4工事が同時施工であったが、各工事業者との調整やJR・ホテル・関係住民と連絡を密にし、トラブルもなく工期内に完成させた。設計仕様のシェルターは積雪対応型であったが、技術提案により「豪雪」を考慮した補強が行われた。また、工場塗装仕上げによる現場施工・高所作業の短縮を図ったり、駅前周辺の広範囲な清掃活動や発生水の分離処理といった環境保全への取組みも多く見られた。



完成



豪雪対策







環境対策

LEDフィールドライト
騒音・振動ゼロ
CO2排出大幅減少

場内排水
油・ごみの除去
汚泥・ごみの除去





【受賞にあたって一言】

このたびは、横手市優良工事表彰の栄誉を賜り誠にありがとうございます。
 本工事は、駅の施設が運営されている中で、同一エリア内で3つの工事が混在しての施工でしたが、関連工事との施工区画の明確化、施工順序・工期の厳守など、各工事と連携を図りながら完成に至りました。
 今回の受賞を励みに、更なる安全意識の高揚と品質向上、技術の研鑽に努めていきたいと思っております。

受賞工事名	横手地区中学校統合事業横手北中学校建設工事（電気設備工事）
受賞技術者名	佐藤長幸 現場代理人

【工事概要】

施工場所	横手市静町字鶴田37番地		
請負者	商号	羽後電設工業(株)・(株)村岡電業社・伊藤電気(株)横手地区中学校統合事業横手北中学校建設工事（電気設備工事）特定建設工事共同企業体	
	構成	代表 羽後電設工業株式会社横手営業所 取締役所長 佐々木 正義 株式会社村岡電業社 代表取締役 村岡 義則 伊藤電気株式会社横手営業所 所長 鈴木 善昭	
	技術者	現場代理人 羽後電設工業株式会社横手営業所 佐藤長幸 主任技術者 株式会社村岡電業社 照井剛史 主任技術者 伊藤電気株式会社横手営業所 高橋貴範	
請負金額	¥295,050,000.-		
工事期間	平成23年8月30日 ～ 平成25年3月15日		
概要	校舎棟電気設備工事 一式 体育館棟電気設備工事 一式 車庫棟電気設備工事 一式 外構電気設備工事 一式		

【表彰理由】

躯体の品質を低下させないために重要なスリーブ間隔の適正な配置など、完成後に隠蔽される部分について、徹底した施工管理が行われていた。また、結線や締め付けについて、マーキング・確認シール・確認表押印と複数の人間により何度も確認するというチェック体制の充実は特に評価できる。そのほか、落雪対策やスイッチ保護、ケーブルにタグを付けるなど、施設管理に配慮した器具が設置されていた。横手市内製造のLED灯を採用するなどの地域貢献も見られた。



【受賞にあたって一言】

このたびは、名誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。学校ということで、毎日生活する生徒や先生方の使いやすさを特に考えながら施工しました。今回の工事は、本当に多くの業種の方々やご指導いただきました監督職員の皆様のご協力により、無事故無災害で竣工することができました。今後も地域のみなさまに貢献できるよう、安全で高品質の施工を目指し、更なる技術の向上に努めていきたいと思っております。

受賞工事名	横手地区中学校統合事業横手北中学校建設工事（機械設備工事）
受賞技術者名	杉山明実 現場代理人

【工事概要】

施工場所	横手市静町字鶴田37番地			
請負者	商号	横手水道工業(株)・平鹿設備工業(株)横手地区中学校統合事業 横手北中学校建設工事（機械設備工事）特定建設工事共同企業体		
	構成	代表 横手水道工業株式会社 代表取締役社長 栗林 徹 平鹿設備工業株式会社 代表取締役 佐藤 俊雄		
	技術者	現場代理人 横手水道工業株式会社 杉山 明実 監理技術者 平鹿設備工業株式会社 谷 藤 隆		
請負金額	¥270,375,000,-			
工事期間	平成23年8月30日 ～ 平成25年3月15日			
概要	校舎棟機械設備工事	一式	体育館棟機械設備工事	一式
	車庫棟機械設備工事	一式	外構機械設備工事	一式

【表彰理由】

冷暖房機器の温度・風量・風向き・発音音量、給湯機器の温度・水量など、多くの試運転調整試験報告書から、一つ一つの機器に品質が確保されていることが確認できる。穴あきピンポン玉を使用して、衛生器具とその排水管の品質を証明するなどの工夫も見られた。室内の配管支持においては、台座を使って配管の脱却防止を図るなど、維持管理への技術提案も積極的に行われていた。（左下写真は、建築・電気・機械全体で行われたラジオ体操をしている朝礼風景。）



【受賞にあたって一言】

このたびの受賞に当り、関係者のみなさまに感謝申し上げます。
 施工に関しては、全体をブロック分けし、各種施工の工程毎に目標値の確認を徹底させることで、工程管理および品質の統一化を担って行きました。また、冬期間の除雪等を考慮し、横断管所の油配管にはU字溝による防護、地下タンクには車止めボールによる保護を行いました。

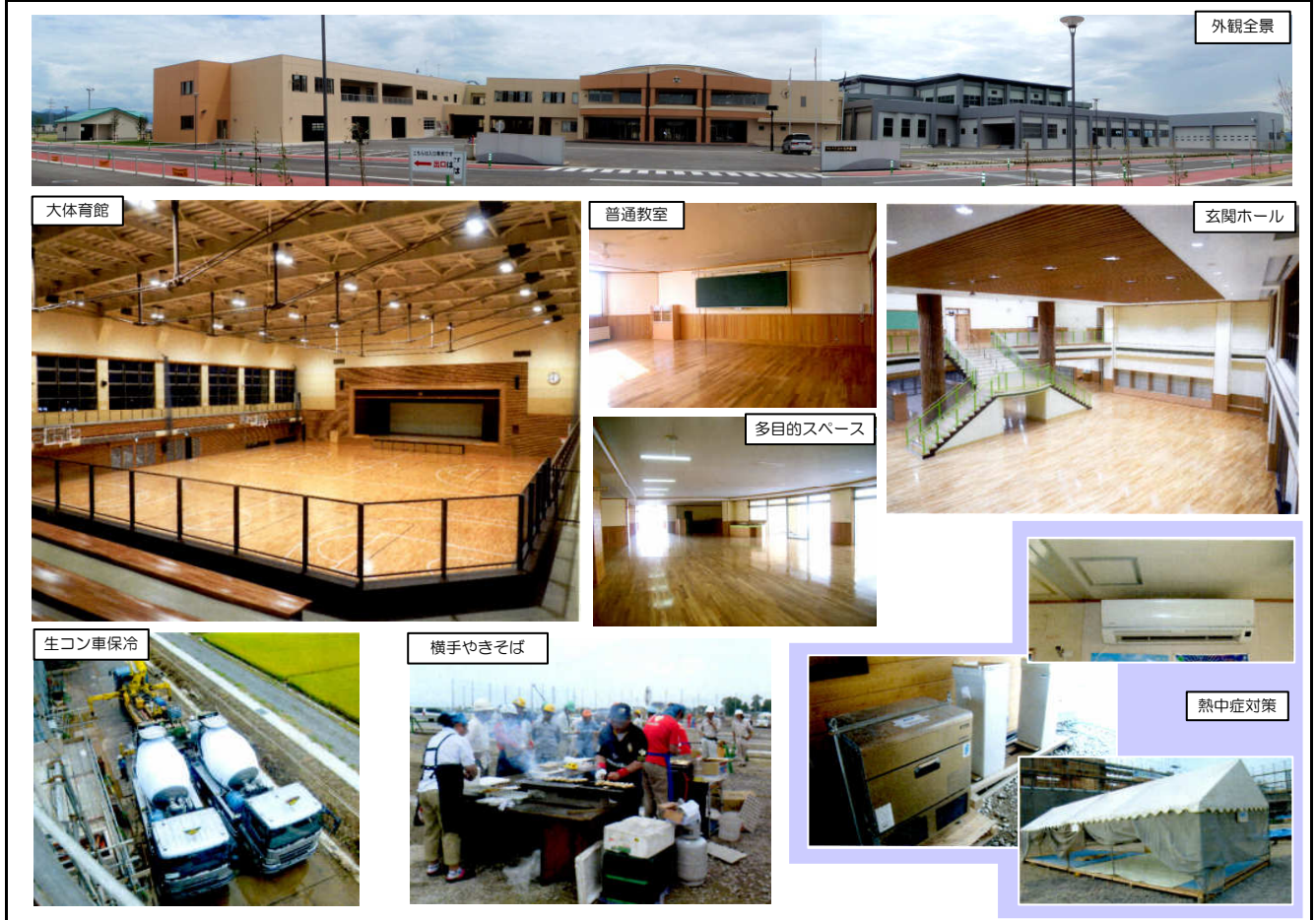
受賞工事名	横手地区中学校統合事業横手北中学校建設工事（建築本体工事等）
受賞技術者名	佐藤 文夫 現場代理人

【工事概要】

施工場所	横手市静町字鶴田37番地	
請負者	商号	創和建设(株)・(株)半田工務店・(株)大和組横手地区中学校統合事業横手北中学校建設工事（建築本体工事等）特定建設工事共同企業体
	構成	代表 創和建设株式会社 代表取締役社長 小原 朗 株式会社半田工務店 代表取締役 半田 隆夫 株式会社大和組 代表取締役 大和 康範
	技術者	現場代理人 創和建设株式会社 佐藤 文夫
		監理技術者 創和建设株式会社 阿部 誠（故人）
		主任技術者 創和建设株式会社 後藤 喜頭
主任技術者 株式会社半田工務店 柴野 智之		
主任技術者 株式会社大和組 佐々木 務		
請負金額	¥2,119,425,000.-	
工事期間	平成23年8月30日 ～ 平成25年3月15日	
概要	校舎棟(RC造2階建)延べ面積 8,537㎡	車庫棟(S造1階建)延べ面積 184㎡
	体育館棟(RC造一部2階建)延べ面積 3,838㎡	外構工事 一式

【表彰理由】

大規模な学校施設建設には短い工期で、しかも二年連続の大雪という悪条件の中、統括的な立場で工事間調整を図りながら完成させ、無事開校を迎えられた。猛暑時の生コン打設では、生コン品質保持カバーを装着し、現場待機中の温度上昇を抑え、躯体の品質確保が図られていた。作業員の熱中症対策の徹底や、横手やきそばの振舞いなど現場の士気を高める工夫もなされていた。



【受賞にあたって一言】

施工管理は、各棟同時進行でしたが、EXP・J取り合いを考慮し、最も施工日数が必要とされる体育館を先行し工程管理を行った結果、無事開校を迎えられたと思います。品質管理は、共通仕様書が19年度版から22年度版に移行したことで躯体関係が大幅に変更になり、講習会等を思い出し、監督員と良く協議を行い品質の確保でき無事引渡しとなりました。監督員、JV職員のみなさまには感謝申し上げます。